

手作り台車でタイヤ交換

キッズタウンで整備士体験

苦小牧地区自動車整備協同組合(苦自整協、川端隆志理事長)が、苦小牧自動車青年連絡会(黒田聖会長、北海工機社長)は、8日児童向け職業体験、とまこまいキッズタウン2024に今年も参加、実車を使ったタイヤ交換作業や灯火装置の点検など、青年部メンバーの手ほどきのもと、子ども達それぞれが自動車整備の仕事を経験していた。



タイヤ交換に挑戦

催しは市の主催で、苦自整協の参加はコロナ明けに再開した昨年に続き、整備士のほか、美容室など24企業・団体が参加し、様々な職業体験プログラムを提供した。対象は市内の小学3、4年生で、参加は600人(定員)は職業体験した子供達には市内で使える給料(通貨II市キヤラクターとまちヨツブ)にちなみ、「チヨツブ」を支払う仕組み。整備士体験は、1回(30分)に8人の児童を受け入れて実施。今回は車庫2台を用意し、運転席での操作体験と点検や灯火装置の点検確認、子ども達が安全にタイヤ交換ができる専用台車を活用したタイヤの脱着作業と点検を同会場メンバーの指導のもと挑戦した。児童の中には、「いつもお父さんのタイヤ交換を手伝っている」と慣れた様子で参加する男の子

仕込み。

整備士体験は、1回(30分)に8人の児童を受け入れて実施。今回は車庫2台を用意し、運転席での操作体験と点検や灯火装置の点検確認、子ども達が安全にタイヤ交換ができる専用台車を活用したタイヤの脱着作業と点検を同会場メンバーの指導のもと挑戦した。児童の中には、「いつもお父さんのタイヤ交換を手伝っている」と慣れた様子で参加する男の子

人口減少何のその!! “よろしく祭”開催

ダイハツ余市中央



大勢の来場者で賑わう会場

ダイハツ余市中央(プロファイル)品田洋一社長は、8日、自社ユザ一はじめ地域住民への感謝を従業員一同で伝える「よろしく祭2024」を開催。当日は30℃超えの残暑厳しい中、会場は昨年を上回る1500人を超える来場者で賑わった。



緑日で楽しむ親子連れ

オープニングは、AI R-Gパーソナリティ、DJ龍太MCの紹介で、地元約30年伝わる余市少年団の北海道ソーラン太鼓で今年も開幕。ステージに上がり、挨拶に立つ品田社長は「昨年はダイハツの認証不正問題等で、お客様には大変ご迷惑をおかけした」とした

や、「クルマが大好きと、点検車両の車種をズバリ言い当てる児童、また前年引き続き2年連続で参加する子どももいるなど、多くの小学生が整備士の仕事を体験していた。

終了後には給料のほかに、顔写真と名前入りのラミネート加工したオリジナルの整備士ライセンス証をプレゼント。整備士体験には最終的に64人が参加していた。

上で、「スタッフ一同、全力で信頼回復に取り組み存じますので、これからもダイハツ車を宜しくお祈り致します」と述べ、スタッフ全員で企画した多彩なイベントで、来場者を終日楽しませた。

会場内のメインステージでは、今回初出場の「よいスポダンスパフォーマンス」をはじめ、地元中学校・東中学校(旭中学校)による吹奏楽部の演奏、地元で人気のダンススクールの所属する子ども達のパフォーミングなどが次々に開演。場内は我が子や孫の姿をスマホに収める人々で満席となった。

また、屋上コーナーでは焼き鳥、揚げだこ、焼きそば、フランクフルトの定番メニューをはじめ、今年もカレーパングランプリ4年連続金賞受賞の人気パン店「小麦の奴隷」が出演。スタッフ総出で対応の「わくわく子ども緑日」には、お菓子のつかみ取り、輪投げ、射的などのブースも終日、子ども達が列を作った。

後半は、大人が楽しめる「カラオケ採点バトル」が行われ、品田社長も飛び入りで出場、参加者から大喝采を浴びた。またスタッフ2人組も初参加したが、惜しくも入賞に届かず、「来年は絶対優勝を狙う」と微笑んだ。最高得点をマークした出場者には、品田社長

初のトラックフェス

スカニア・ボルボをPR

カナタグループは創立60周年記念事業として、金田自動車(金田一宏社長)がトラック整備工場旭川店で「カナタグループトラックフェス」を、7、8の両日開催。イベントに先立ち、同社ユーザーのほかに、オホーツク管内のトラック運送事業者などにリーフレット等の案内を配布した。会場内にはイベントのメインとして、同社が販売している最新のボルボ



初めて開かれたトラックフェス

工認定店となっている、アメリカのペイントプロテクションフィルム「STEK」のラッピングを施した車両を展示。このフィルムは、車体カラーの「見た目」重視のラッピングフィルムとは異なり、僅か0.15mmの厚さ

で外部からの衝撃耐性を実現。通常の塗装では再現しにくいグラフィックデザインの施工はもとより、透明のフロントガラス専用フィルムは、高衝撃性を誇り、高輝度を発する。またライト専用フィルムは、飛石やライの白くすみ、黄ばみを防ぎ、光沢を保ち続けることが可能なことから多くの来場者が注目した。

同社の小澤尚輝総務部長は「当社60周年の記念イベントとして企画し、スカニアやボルボの車両販売や新車、中古車問わ

ずお客様のニーズに合わせてトラック塗装等のカスタムを提案・販売に繋げるのが今回の目的。当社は現在、輸入、国産のトラックメーカーの販売や、30社以上の架装メーカーと取り引きがある中、様々な最新技術を取り入れており、整備を含めた多様なニーズへの対応について、イベントを通じてPR出来た」と話した。

また同社乗用車整備工場では同日、恒例の「大感謝祭」を開催。イベントハガキ持参で焼き鳥やソフトドリンクを提供、

乗用車工場で行われた感謝祭

馬鈴薯輸送安全にパトロールを実施

十勝協

十勝地区トラック協会農産部会(谷口弘幸部会長)は4日から、「農産物輸送繁忙期におけるパトロール」をスタートさせた。パトロールは11月まで計8回実施される。パトロールは、過積載

そのほか、同社がレストアしたオート三輪の展示や、大型工場でも展示しているペイントプロテクションフィルム「STEK」施工のSUVが紹介され、会場を訪れたユーザーの注目を集めた。

など違法行為の排除と、輸送秩序の確立を目的に実施。初日は谷口部会長(谷口運輸)、平井清裕(幕別興業)、佐藤貢(本別運輸)両副部会長、事務局の野宮康佑氏がJA土幌町の澁粉工場を訪れた。

工場を訪れた谷口部会長(中央)ら

一行はその後、近く操業が始まる浦幌町、中札内村の澁粉工場も回り、原料の受け入れ準備状況などを確認した。

「すえひろ農園」を開店、また旭川市のマスコットキャラクター「あさつぴー」が会場を和ませた。展示販売コーナーでは、奉仕価格でのスタッフドレスタイヤ早期予約、お得な早期車検の受付、カタログギフトなどが当たる新車商談会、お米10kgがもらえる中古車商談会、カー用品特価と、お買い得感盛り沢山のイベントとなった。

皆様に感謝の気持ちを伝えるため長年開催。最初はビール箱の上で司会をするほど小規模だったが、現在では地域イベントとして大きく広がった。この時期、近隣の自動車関係のイベントも開催しており、各社と切磋琢磨して地域全体を盛り上げていきたい」と述べた。

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

華」のよさこい演舞、ご当地ヒーロー「カムイエース」のじゃんけん大会、ラーメン早食い競争、豪華景品が当たる大抽選会などが行われ、会場が一体となり盛り上がり、2日間に渡り様々な催しが展開された。

会場内には感謝の気持ちを伝えるため長年開催。最初はビール箱の上で司会をするほど小規模だったが、現在では地域イベントとして大きく広がった。この時期、近隣の自動車関係のイベントも開催しており、各社と切磋琢磨して地域全体を盛り上げていきたい」と述べた。

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

会場には開会と同時に大勢の来場者が押し寄せ、特設ステージでは始めに餅まきを実施すると、大人も子どもも大はしゃぎ。「リアルドットステイングレー」ライプ、旭川発アイドルユニット「ローワンベリー」のライブ、せせらぎウィンドアンサンブル演奏会など、臨場感あふれる音楽企画を披露したほか、「ひがしかぐら東神酔

わが社の Our company イベント

金田自動車

旭川市内に国内外の大型トラックが集結



海外メーカーのスカニアトラックも展示

中古トラックの販売や整備、部品の取り扱い、廃車解体などを手掛ける「金田自動車」（本社・旭川市）が、9月7～8日に設立60

周年を記念した「トラックフェス」を開催した。会場となった同社「大型工場」（旭川市末広東1条12丁目1-3）には、国内外メーカーの大型トラック、ダンプ、トレーラーなど、20台以上が展示。物流や運送企業を中心に約60社、100名が来場した。会場では車両の見学や試乗が行われたほか、同社担当者との商談を行うケースも多く見られた。



多くの来場者と交流を図った

「多くの方に来場いただき、非常に有意義なイベントになりました。物流企業さまのお役に立てられるように、機会があれば今後も開催していきたいと考えています」と木地合達男営業部長。

育成に寄与する活動をする団体やイベントなどで、上限は1事業あたり80万円。募集期間は10月21日まで。応募の中から、12月に助成対象事業を決定し、25年4月に助成金を交付予定だ。

申し込み・問い合わせは、
 ☎011・210・0326
 FAX011・210・0916。またはメール zaidan@taiyo-hesf.or.jp。

LBトラックス北海道が商談会を初開催

内外装をカスタマイズしたトラックコンプリートカーの販売や装飾を手掛ける「LBトラックス北海道」（本店・石狩市）が、9月29日に石狩市内で車両やパーツの展示商談会を初開催した。当日は、トラックドライバーなど約1



当日は道内各地から来場者が訪れた

500人が訪れ好評を博した。LBトラックス北海道を運営する総合物流企業の「カムイトランスストレージ」（本社・石狩市、竹山弘基社長）は、2023年からスーパーカーなどを販売する「リパテ

イウォーク」（本社・愛知県）のトラック部門の販売代理店の事業を開始した。5月には、神奈川県で開催された大規模トラック展示会「ジャパントラックショー2024」に出展し、各メディアに取り上げられるなど話題を呼んだ。

同社では、自社敷地内のパーツ取り付けの架装工場に併設して、常設のショールームやカフェなども開設予定だ。

「当時は、不当な高額請求や現金・貴重品の盗難、廃棄物の不法投棄などを行う悪質業者が珍しくありませんでした。私のように遺品整理で傷ついたり悪徳な業者を減らしたいという思いから協会を立ち上げました」

「遺品整理士」という概念すら存在しなかった時代にゼロから、認定資格制度を構築。法令遵守の指導と遺品整理業に一定のガイドラインを設けることで無法地帯だった遺品整理業界の健全化を目指した。「これは遺品整理業界で日本初の認定民間資格です」

設立から13年を迎え、今年6月には遺品整理士が6万人を突破。8月には記念祝賀会も開催された。

「高齢化社会の進展で、遺品整理の需要が高まっています。事業者が増える一方で、業者によるトラブルも依然として存在します。今後も遺品整理士の養成に注力し、故人への敬意を忘れず遺族から感謝される遺品整理を目指します」